

問

多国籍企業情報の報告コーナーにおいて、エラーコード：「ERR_INITIAL_001」

エラーメッセージ：「通信中にエラーが発生したため、帳票表示処理を中断しました。再度処理を行ってください。」

もしくは

エラーコード「ERR_INITIAL_005」

エラーメッセージ：「帳票表示処理中にエラーが発生したため処理を中断しました。ご利用の環境確認後、再度処理を行ってください。」

が表示されました。どうすればいいですか。

答

システム管理者（社内のネットワーク担当者、システム担当者等）とともに次ページ以降のチェックリストをご確認ください。

○帳票エラーが発生した場合のチェックリスト

確認番号	項目	確認方法	チェック	対応方法
1	企業内 LAN にて ActiveDirectory のリダイレクト機能（シンクライアント等）を利用しているか。 ※利用している場合、帳票を正常に表示できないことがあります。	—	利用していない場合 <input type="checkbox"/> 確認番号 2 へお進みください。	利用している場合 お手数ですが、帳票表示を行う端末は、リダイレクト機能を利用していない端末で行ってください。
2	事前準備セットアップを実行しているか。	—	している場合 <input type="checkbox"/> 確認番号 3 へお進みください。	していない場合 パソコンを操作する方のログインユーザー ID で事前準備セットアップを実行してください。
3	事前準備セットアップは、パソコンを操作する方のログインユーザー ID で実行しているか。（パソコン管理者等のユーザー ID で実行していないか）	—	している場合 <input type="checkbox"/> 確認番号 4 へお進みください。	していない場合 パソコンを操作する方のログインユーザー ID で事前準備セットアップを実行してください。
4	ご利用されるパソコンの環境は、プロキシサーバを利用しているか。	—	利用している場合 <input type="checkbox"/> 確認番号 5 へお進みください。	利用していない場合 確認番号 6 へお進みください。
5	ご利用されるパソコン環境は、PAC ファイルを利用しているか。	P.6 PAC（自動構成スクリプト）ファイルの確認方法・修正方法	利用していない場合 <input type="checkbox"/> 確認番号 6 へお進みください。	利用している場合 PAC（自動構成スクリプト）ファイルの確認方法・修正方法をご確認ください。
6	インターネットオプションの信頼済サイトに以下のサイトが設定されているか。 ①http://dl.e-tax.nta.go.jp ②https://clientweb.etax.nta.go.jp ③https://kaishi.e-tax.nta.go.jp ④https://uketsuke.e-tax.nta.go.jp ⑤https://*.myna.go.jp ※DL サイトのみ http となっていることに注意。	P.7 インターネットオプション信頼済サイトの確認方法・修正方法	設定している場合 <input type="checkbox"/> 確認番号 7 へお進みください。	設定していない場合以下をご確認ください。 ① 事前準備セットアップが正しくインストールされていない可能性があります。 ② 手動により信頼済サイトの設定が可能かご確認ください。（P.7 インターネットオプション信頼済サイトの確認方法） ③ 社内のディレクトリ・サービス（例:ActiveDirectory）により、信頼済サイトが制御されている可能性がありますので、システム担当者へご確認ください。

確認番号	項目	確認方法	チェック	対応方法
7	<p>インターネットオプションのポップアップブロックに以下の設定がされているか。</p> <p>①dl.e-tax.nta.go.jp ②clientweb.e-tax.nta.go.jp ③kaishi.e-tax.nta.go.jp ④uketsuke.e-tax.nta.go.jp ⑤myna.go.jp</p>	P.10 インターネットオプションのポップアップブロックの確認方法・修正方法	<p>設定している場合</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>確認番号 8 へお進みください。</p>	<p>設定してない場合 以下をご確認ください。</p> <p>① 手動によりポップアップブロックの登録が可能かご確認ください。(P.10 インターネットオプションのポップアップブロックの確認方法)</p> <p>② 社内のディレクトリ・サービス(例:ActiveDirectory)により、ポップアップブロックの登録が制御されている可能性がありますので、システム管理者へご確認ください。</p>
8	インターネットオプションの保護モードが有効になっていないか。	P.13 インターネットオプションの保護モードの確認方法・修正方法	<p>なっていない場合</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>確認番号 9 へお進みください。</p>	<p>なっている(有効)の場合 P.13 インターネットオプションの保護モードの確認方法・修正方法を確認し、再度帳票表示をお試しください。</p>
9	Windows の証明書ストアにルート証明書が正しく格納されているか。	P.15 Windows 証明書ストアのルート証明書・中間証明書の確認方法	<p>格納している場合</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>確認番号 10 へお進みください。</p>	<p>格納していない場合 社内のディレクトリ・サービス(例: ActiveDirectory)により、証明書の登録が制御されている可能性がありますので、システム担当者へご確認ください。</p>
10	<p>Internet Explorer を開き、以下のアドレスを入力して「XML」の内容が表示されるかご確認ください。</p> <p>(Microsoft Edge では確認を行えないため、Internet Explorer で実施してください。)</p> <p>「https://clientweb.etax.nta.go.jp/UF_WEB/WP000/chohyo/RCInitial/initial.xml」</p>	P.16 XML ファイルの確認方法	<p>表示される場合</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>確認番号 11 へお進みください。</p>	<p>表示されない場合 利用中の端末から https 通信が遮断されている可能性がありますので、システム担当者へご確認ください。</p>

確認番号	項目	確認方法	チェック	対応方法
11	確認番号 10 で表示された画面が信頼済サイト：保護モード無効」となっているか確認をしてください。	P. 16 XML ファイルの確認方法	「信頼済サイト：保護モード無効」の場合 <input type="checkbox"/> 確認番号 12 へお進みください。	左記以外の場合 社内の LAN 設定をシステム担当者へご確認いただき、設定変更した上で帳票表示をお試しください。
12	Internet Explorer を開き、以下のアドレスを入力して「XML」の内容が表示されるかご確認ください (Microsoft Edge では確認を行えないため、Internet Explorer で実施してください。) 「 http://dl.e-tax.нта.go.jp/chohyo/message.xml 」	P. 16 XML ファイルの確認方法	表示される場合 <input type="checkbox"/> 確認番号 13 へお進みください。	表示されない場合 利用中の端末から http 通信が遮断されている可能性がありますので、システム担当者へご確認ください。
13	確認番号 12 で表示された画面が信頼済サイト：保護モード無効」となっているか確認をしてください。	P. 16 XML ファイルの確認方法	「信頼済サイト：保護モード無効」の場合 <input type="checkbox"/> 確認番号 14 へお進みください。	左記以外の場合 社内の LAN 設定をシステム担当者へご確認いただき、設定変更した上で帳票表示をお試しください。
14	ご利用されるパソコンの環境は、プロキシサーバを利用しているか。	—	使用していない場合 <input type="checkbox"/> 確認番号 15 へお進みください。	使用している場合 プロキシサーバ上において、以下の URL がアクセス許可となっているか、システム管理者へご確認ください。 ① dl.e-tax.нта.go.jp ② clientweb.e-tax.нта.go.jp ③ kaishi.e-tax.нта.go.jp ④ uketsuke.e-tax.нта.go.jp ⑤ dir2.gpki.go.jp ⑥ e-tax.нта.go.jp ⑦ myna.go.jp

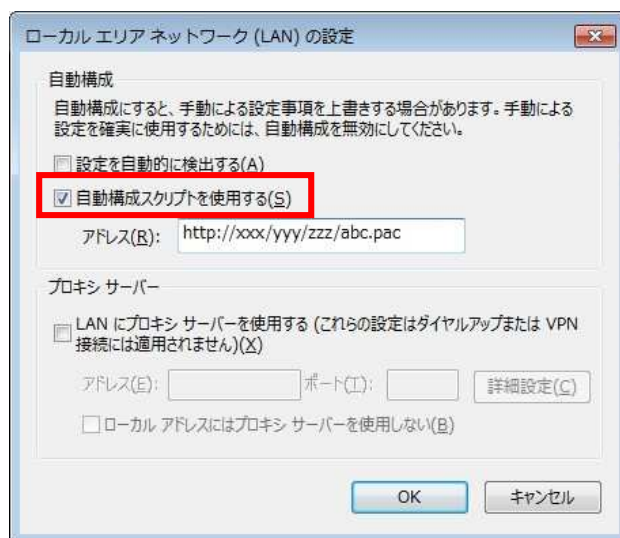
確認番号	項目	確認方法	チェック	対応方法
15	帳票表示時にダウンロードする資材の拡張子である「js/md5/zip/iml/xml」を企業内LAN設定にて遮断をしていないかご確認ください。	—	使用していない場合 <input type="checkbox"/>	使用している場合 該当する拡張子を許可していただくようシステム担当者へご確認ください。
ここまでで解決しない場合は、社内でご利用されている端末、環境（例：アクセス制御等行っているソフトウェアが導入されている。）によることが想定されますので、社内のシステム担当者・ネットワーク担当者へお問い合わせください。				

★PAC(自動構成スクリプト)ファイルの確認方法・修正方法

(確認方法)

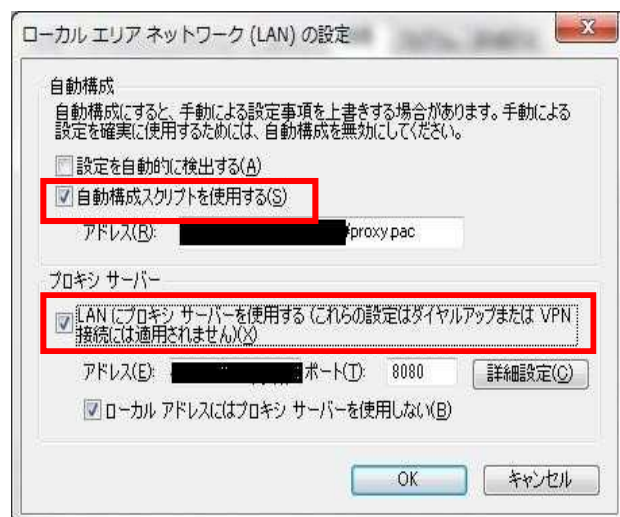
※Internet Explorer から、インターネットオプションの設定を確認する方法を記載しています(スタート→コントロールパネルからも、インターネットオプションの設定確認及び設定変更できます。)

- ① Internet Explorer 11 を開きます。
- ② <ツール>→<インターネットオプション>を開きます。
- ③ 「接続」タブの「LANの設定」を開きます。
- ④ ③を開いたときに、以下の画面の場合は、PAC(自動構成スクリプト)ファイルを利用しています。



(修正方法)

LANの設定を、下図に示すとおり、枠で囲った2箇所のチェックボックスにチェックしていただくことで、正常に処理が続行できることを確認しております。

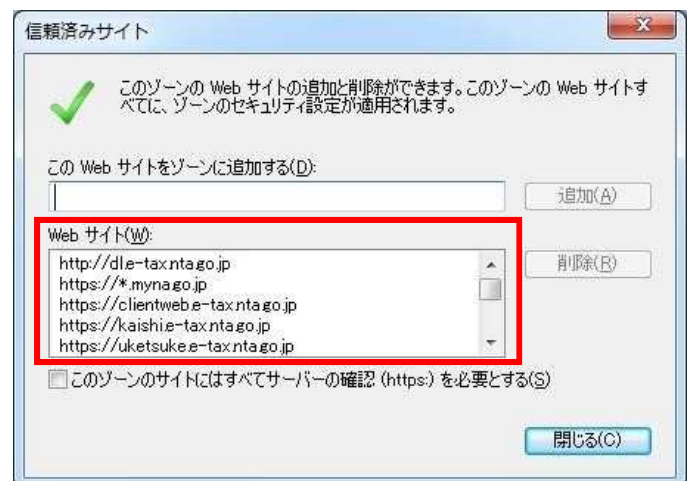
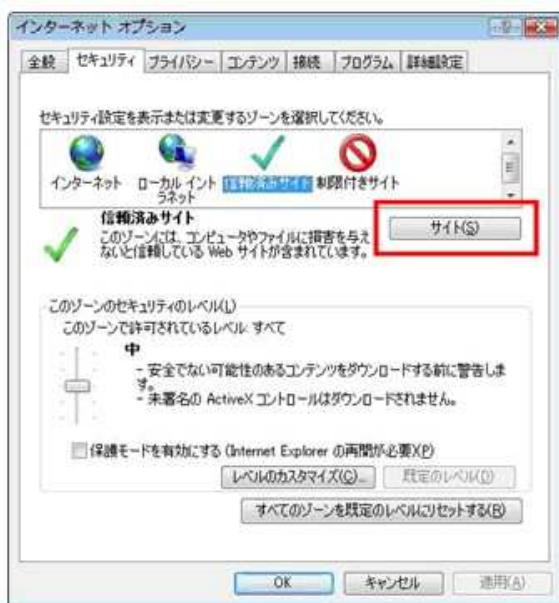


★インターネットオプションの信頼済みサイトの確認方法・修正方法

(確認方法)

※Internet Explorer から、インターネットオプションの設定を確認する方法を記載しています(スタート→コントロールパネルからも、インターネットオプションの設定確認及び設定変更できます。)

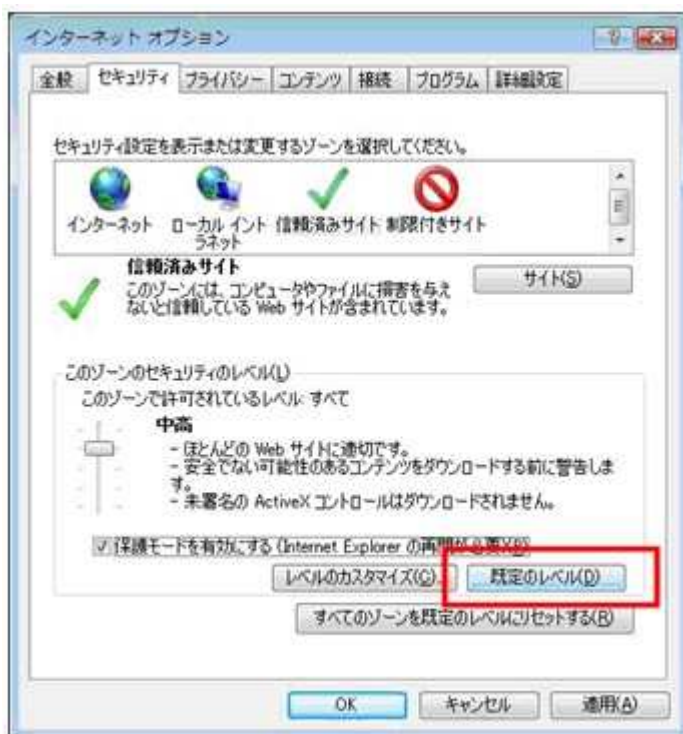
- ① Internet Explorer 11 を開きます。
- ② <ツール>→<インターネットオプション>を開きます。
- ③ 「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」をクリックします。
- ④ 「サイト」ボタンをクリックします。
- ⑤ 以下「信頼済みサイト」画面において、以下のサイトが設定されているか確認します。
 - 1 http://dl.e-tax.nta.go.jp
 - 2 https://clientweb.e-tax.nta.go.jp
 - 3 https://kaishi.e-tax.nta.go.jp
 - 4 https://uketsuke.e-tax.nta.go.jp
 - 5 https://*.myna.go.jp



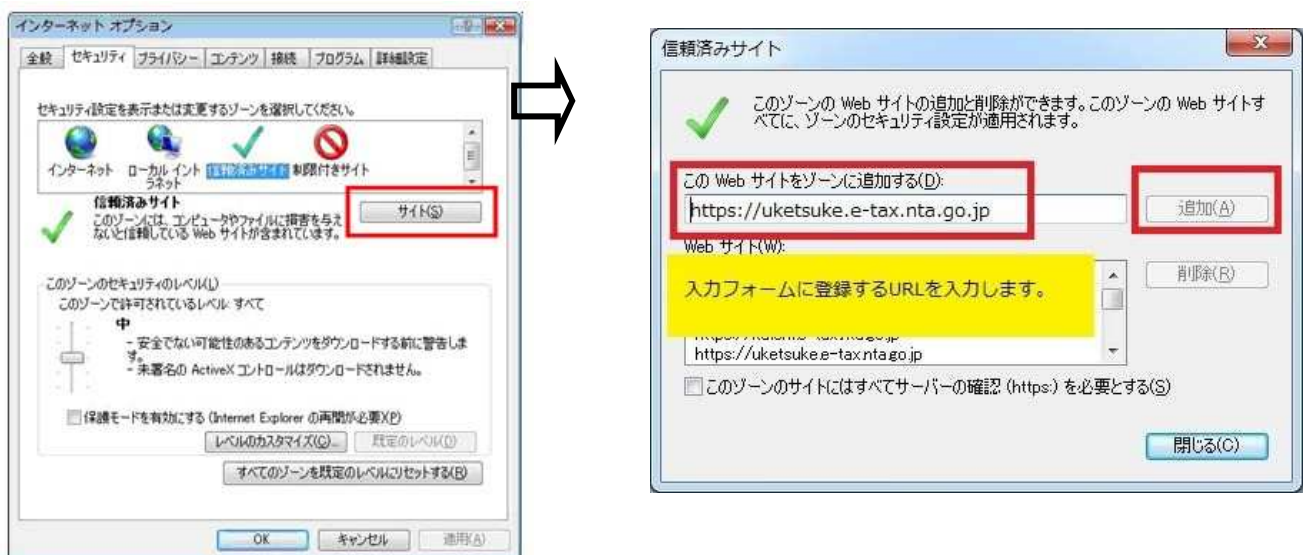
(修正方法)

サイトが設定されていない場合は、以下のとおり手動で設定を行うか、又は、社内のディレクトリ・サービス（例：ActiveDirectory）により、信頼済みサイトの登録が制御されている可能性がありますので、システム担当者へご確認ください。

- ① Internet Explorer 11 を開きます。
- ② <ツール>→<インターネットオプション>を開きます。
- ③ 「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」をクリックします。
- ④ 「信頼済みサイト」のセキュリティゾーンが初期設定であることを確認します。
- ⑤ セキュリティゾーンが初期設定から変更されている場合は、「既定のレベル」ボタンがクリック可能となっているため、クリックして初期設定に戻します。
- ⑥ 「既定のレベル」ボタンがクリックできない場合は、すでに初期設定であるため、次の手順を行います。



- ⑦ 「サイト」ボタンをクリックします。



- ⑧ 「信頼済みサイト」ウィンドウが開きますので、「この Web サイトをゾーンに追加する」の下の入力フォームに以下の URL を入力し、「追加」をクリックします。

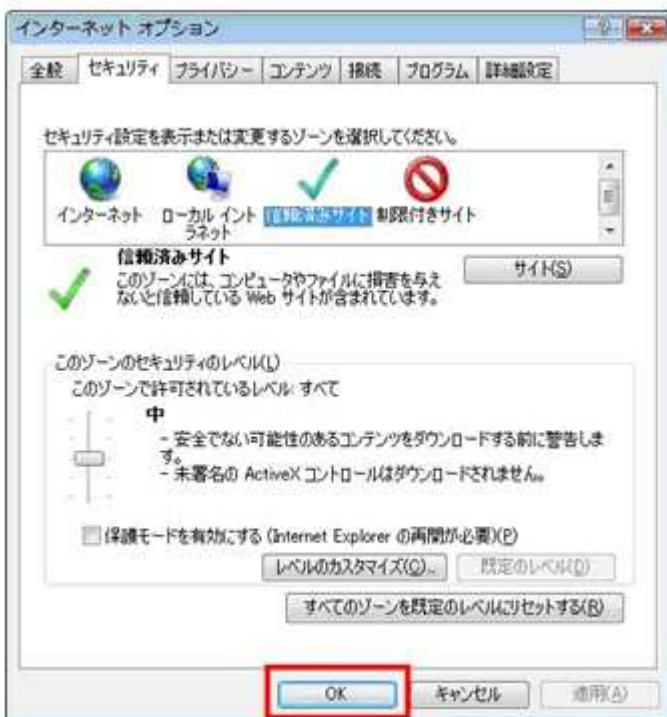
下の 3 つの URL について操作を繰り返していただき、全ての URL を追加します。

- 1 http://dl.e-tax.nta.go.jp
- 2 https://clientweb.e-tax.nta.go.jp
- 3 https://kaishi.e-tax.nta.go.jp
- 4 https://uketsuke.e-tax.nta.go.jp
- 5 https://*.myna.go.jp

- ⑨ 「Web サイト」に登録した URL が表示されていることを確認し、「閉じる」をクリックしてください。



- ⑩ 「インターネットオプション」画面に戻りますので、「OK」をクリックしてください。



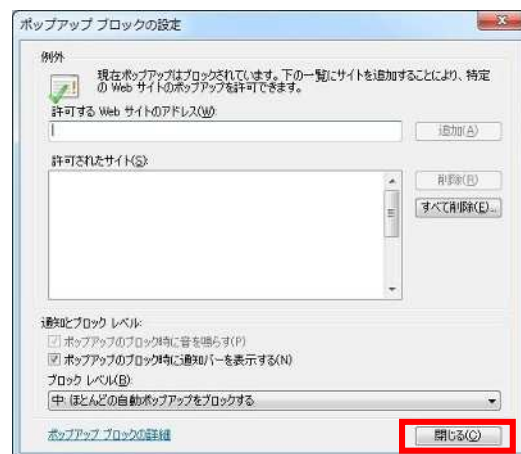
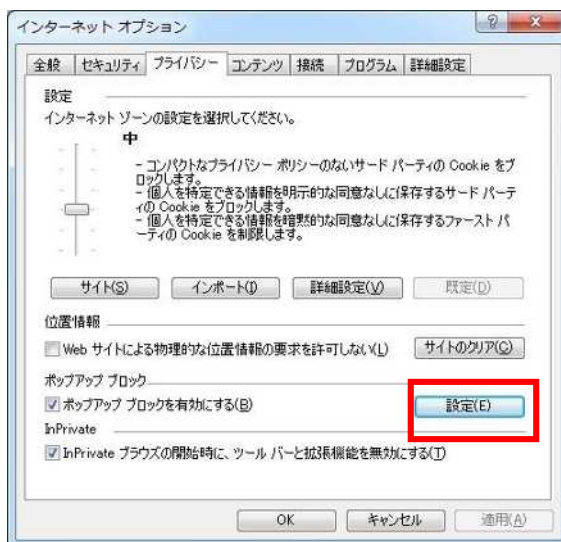
以上の操作で信頼済みサイトへ登録が完了します。

★インターネットオプションのポップアップブロックの確認方法・修正方法

(確認方法)

※Internet Explorer から、インターネットオプションの設定を確認する方法を記載しています。(＜スタート＞→＜コントロールパネル＞からも、インターネットオプションの設定確認及び設定変更できます。)

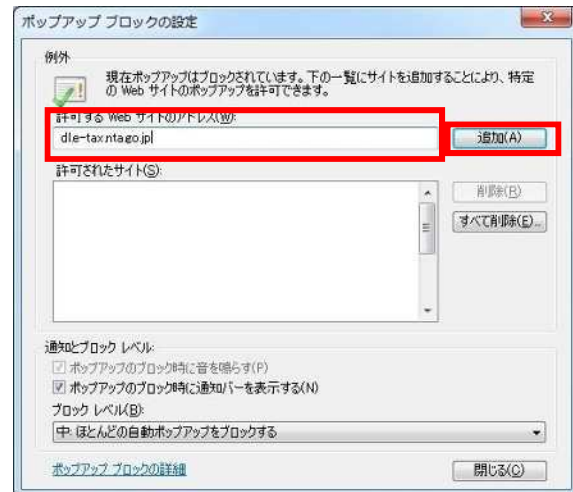
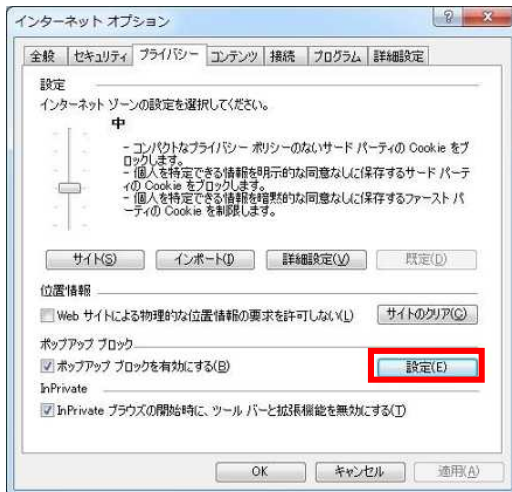
- ① Internet Explorer 11 を開きます。
- ② ＜ツール＞→＜インターネットオプション＞を開きます。
- ③ 「プライバシー」タブのポップアップブロックの「設定」をクリックします。
- ④ 「ポップアップブロックの設定」の「許可する Web サイトのアドレス」の下の入力フォームに以下の URL があるか確認をします。
 - 1 dl.e-tax.nta.go.jp
 - 2 clientweb.e-tax.nta.go.jp
 - 3 kaishi.e-tax.nta.go.jp
 - 4 uketsuke.e-tax.nta.go.jp
 - 5 myna.go.jp



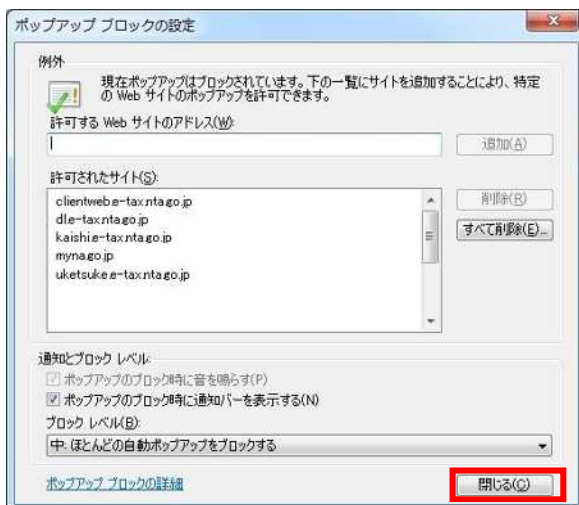
(修正方法)

ポップアップブロックが登録されていない場合は、以下のとおり手動で設定を行うか、又は、社内のディレクトリ・サービス（例：ActiveDirectory）により、ポップアップブロックの登録が制御されている可能性がありますので、システム担当者へご確認ください。

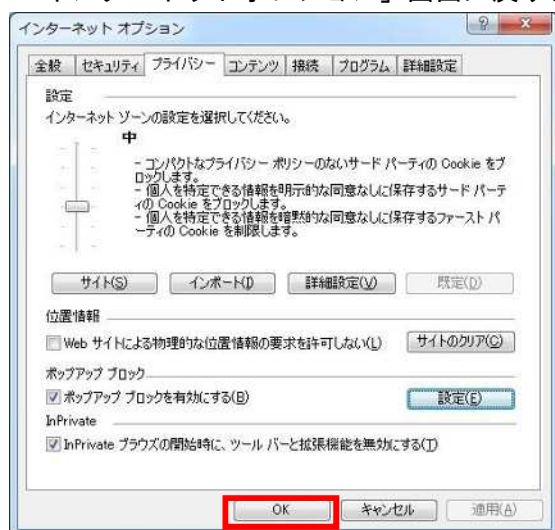
- ① InternetExplorer11 を開きます。
- ② <ツール>→<インターネットオプション>を開きます。
- ③ 「プライバシー」タブのポップアップブロックの「設定」をクリックします。
- ④ 「ポップアップブロックの設定」の「許可するWebサイトのアドレス」の下の入力フォームに以下のURLを入力し、「追加」をクリックします。
 - 1 dl.e-tax.nta.go.jp
 - 2 clientweb.e-tax.nta.go.jp
 - 3 kaishi.e-tax.nta.go.jp
 - 4 uketsuke.e-tax.nta.go.jp
 - 5 myna.go.jp



- ⑤ 「許可されたサイト」に登録したURLが表示されることを確認し、「閉じる」をクリックしてください。



- ⑥ 「インターネットオプション」画面に戻りますので、「OK」をクリックしてください。



以上の操作でポップアップブロックの許可サイトへの登録が完了します。

★インターネットオプションの保護モードの確認方法・修正方法

(確認方法)

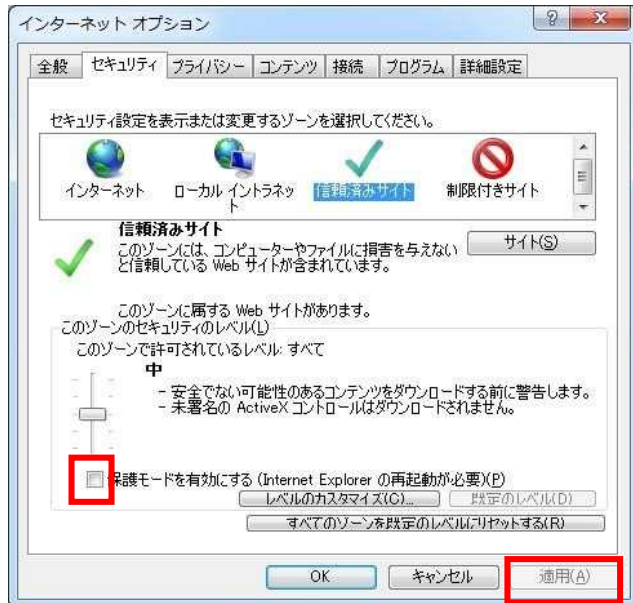
※Internet Explorer から、インターネットオプションの設定を確認する方法を記載しています。(＜スタート＞→＜コントロールパネル＞からも、インターネットオプションの設定確認及び設定変更できます。)

- ① Internet Explorer を開きます。
- ② ＜ツール＞→＜インターネットオプション＞を開きます。
- ③ 「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」をクリックします。
- ④ 「信頼済みサイト」のセキュリティゾーンの「保護モードを有効にする」のチェックボックスを確認します。



(修正方法)

- ① InternetExplorer を開きます。
- ② <ツール>→<インターネットオプション>を開きます。
- ③ 「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」をクリックします。
- ④ 「信頼済みサイト」の「セキュリティゾーンが保護モードを有効にする」のチェックボックスを確認します。



- ⑤ 「信頼済みサイト」の「セキュリティゾーンが保護モードを有効にする」のチェックボックスにチェックがある場合は、チェックをはずします。
- ⑥ チェックが外れたことを確認した後「適用」ボタンをクリックします。
- ⑦ 「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じます。
- ⑧ InternetExplorer 画面をすべて閉じます。

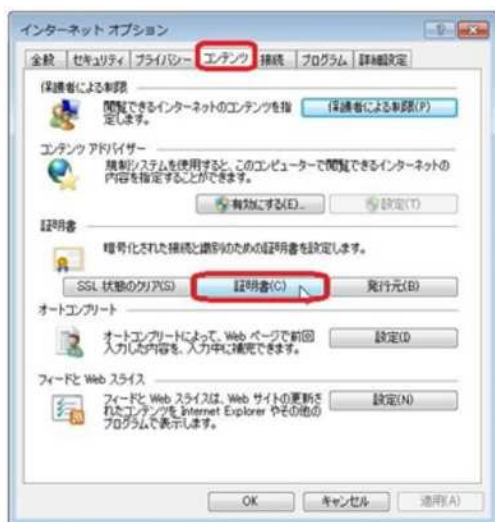
以上の操作で InternetExplorer の保護モードの設定が完了します。

★Windows 証明書ストアのルート証明書・中間証明書の確認方法

(確認方法)

※Internet Explorer から、インターネットオプションの設定を確認する方法を記載しています。(＜スタート＞→＜コントロールパネル＞からも、インターネットオプションの設定確認及び設定変更できます。)

- ① Internet Explorer を開きます。
- ② ＜ツール＞→＜インターネットオプション＞を開きます。
- ③ 「コンテンツ」タブの「証明書」をクリックします。



- ④ 「信頼されたルート証明機関」タブを選択し、以下の証明書が表示されていれば、ルート証明書は正常にインストールされています。

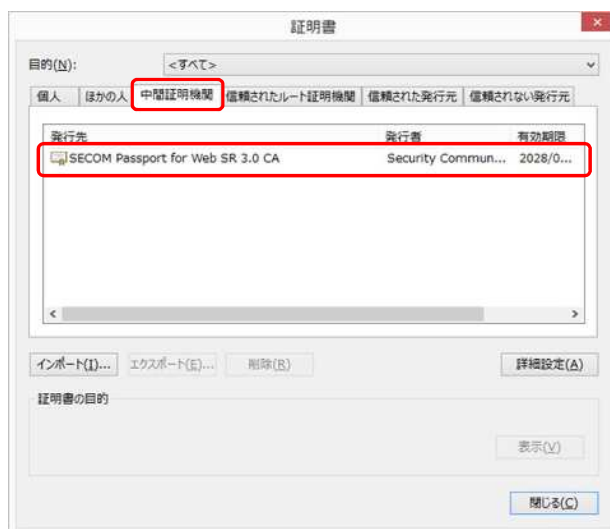
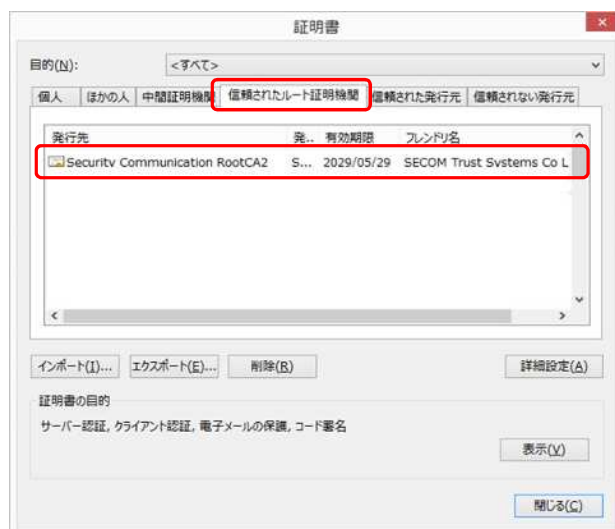
・ Security Communication RootCA2 (セコムパスポート for WebSR3.0 のルート証明書)

※ご利用の環境により、複数表示される場合がありますが、問題ありません。

- ⑤ 「中間証明機関」タブを選択し、以下の証明書が表示されていれば、ルート証明書は正常にインストールされています。

・ SECOM Passport for Web SR 3.0 CA (セコムパスポート for WebSR3.0 の中間証明書)

※ご利用の環境により、複数表示される場合がありますが、問題ありません。



★XMLファイルの確認方法

(確認方法)

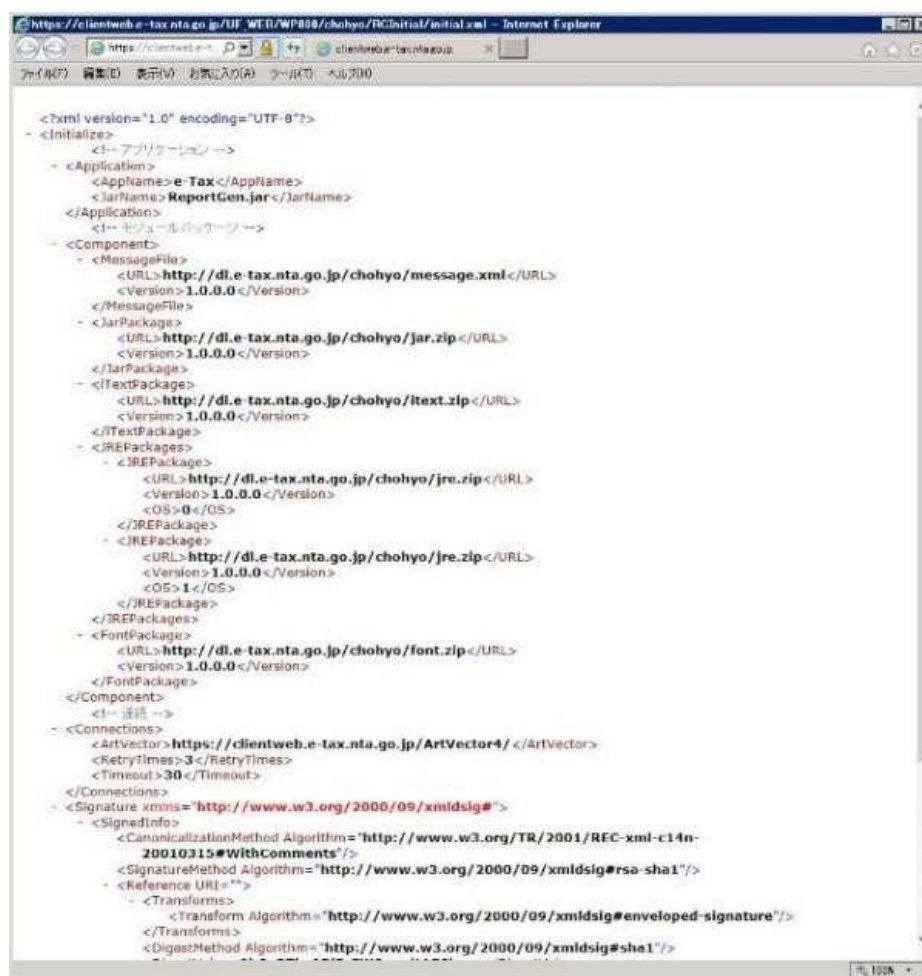
※Microsoft Edge では確認を行えないため、InternetExplorer でご確認ください。

- ① InternetExplorer を開きます。
- ② アドレス欄に「〇〇〇〇（以下参照）」と入力し、検索ボタンをクリックする。

- 1 https://clientweb.e-tax.nta.go.jp/UF_WEB/WP000/chohyo/RCInitial/initial.xml
- 2 <http://dl.e-tax.nta.go.jp/chohyo/message.xml>



- ③ 以下の画面が表示された場合は、任意の場所で右クリックプロパティを表示する。



- ④ 表示される画面において、「ゾーン」が「信頼済みサイト | 保護モード：無効」となっているか確認を行う。

